

2005年9月 岡山市議会 質問 日本共産党 岡山市議 稲葉やす子
PFI事業で安全性はどうなる

8月16日、午前11時頃、東北地方を中心にマグニチュード7.2という規模の地震があったことは記憶に新しいところであります。

この、宮城沖地震で、仙台市泉区松森にある「スポーツ松森」で、プールの天井が落下して遊泳中の人にあたり26人の方がけがをされました。「スポパーク松森」はこの7月にオープンしたばかりのPFI方式の施設であります。隣接する市のごみ焼却施設・松森工場の余熱利用関連施設です。約、1000平方メートルの天井板が落下、天井を支える鉄の骨組みも垂れ下がり、一部は落下で、泳ぎにきていた子ども3人を含む26人が軽傷を負っています。原因は、振れ止めの設置ができていなかったことによるといわれています。

そこで、岡山市のPFI事業で行われている、当新田健康増進施設、東部健康増進施設についてお尋ねします。

- 1、 岡山市東部余熱利用健康増進施設は、H15、9月に岡山市とPFIヘルスプラザ岡山株式会社と、当新田環境センター余熱利用施設は平成13年にPFI岡山当新田株式会社と岡山市との間で契約書を取り交わしていますが、防災の観点でどのような配慮をしているかお示してください。
- 2、 仙台市「スポパーク松森」のケースでは、振れ止めの設置をつけるよう指示した国交省通知がありながら取り付けられていませんでした。通知だけでなく実施を点検する体制の確立が必要だと思いますが、岡山市の場合、点検する体制になっていますか。
- 3、 PFIの基本理念や期待される成果を実現するため、基本方針において、PFI事業に求められる性格が5つの原則と3つの主義としてかがげられています。その中の柱に公共性原則があります。PFIは「官から民へ」の掛け声で全国の自治体で推進されていますが公的なチェックが甘くなるという懸念があります。チェック機能はどのようになっているのでしょうか。
- 4、 契約書の中で、不可抗力が発生し、市と事業者の協議が整い事業を再開する場合、整備や修繕等の費用について、事業者が契約している保険を使うけれども不足が出た場合は市が全額負担をするようになっています。このような契約書の内容を見るかぎり、結局、民間企業を助けるものになっているのではないかと考えますが、御所見をお願いします。